



■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

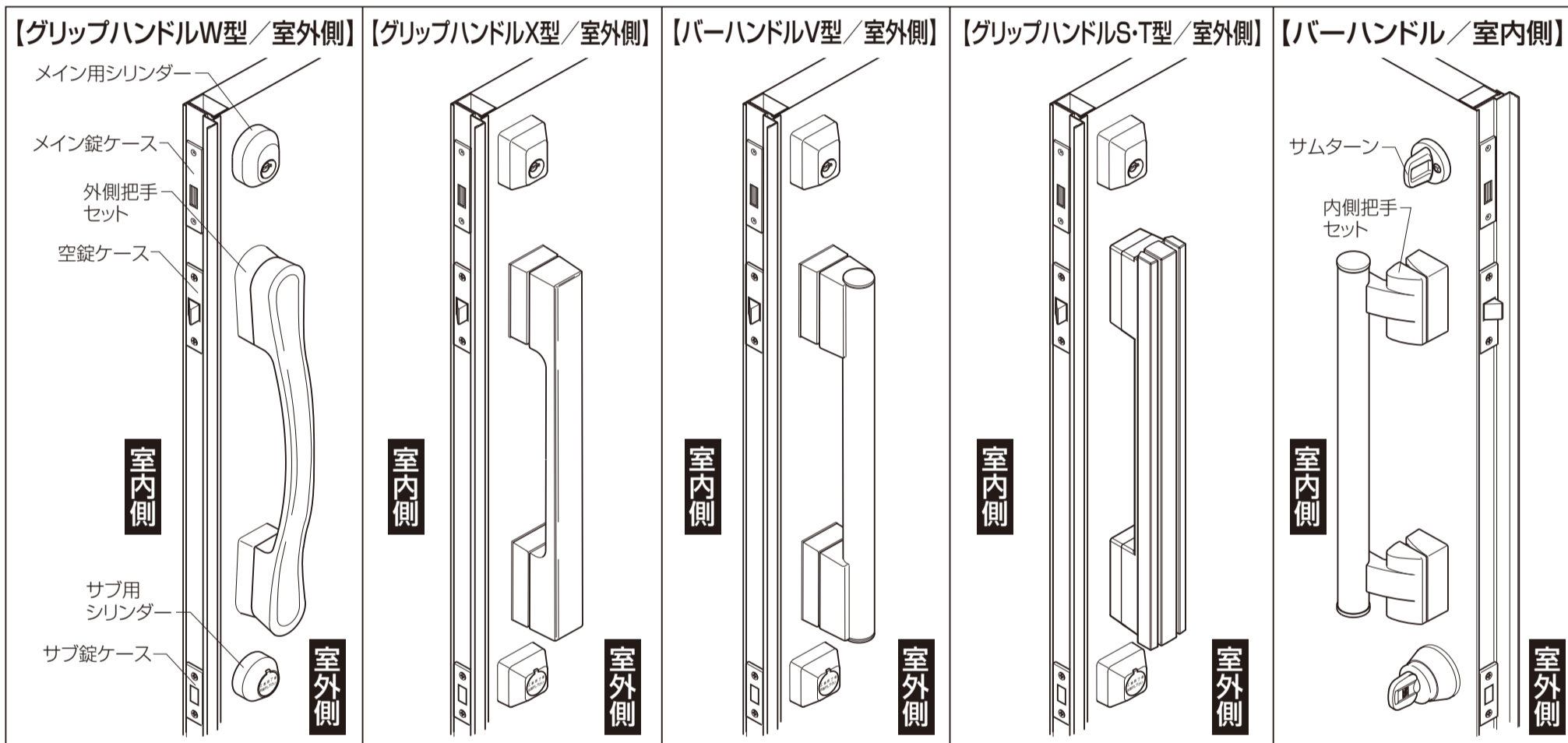
■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	—
内側把手セット	1 個	皿小ねじM5×25/4本
メイン錠ケース	1 個	皿小ねじM4×20/2本(鋼板ドア用)、皿タップピンねじM4×12/2本(框ドア用)
サブ錠ケース	1 個	皿小ねじM4×16/2本(鋼板ドア用)、皿タップピンねじM4×12/2本(框ドア用)
空錠ケース	1 個	皿小ねじM4×16/2本(鋼板ドア用)、皿タップピンねじM4×12/2本(框ドア用)
シリンダーセット	1セット	シリンダーユニット(メイン・サブ) /各1個 サムターン、トラス小ねじM5×45/2本 内側台座カバー/2個
セキュリティサムターンセット	1セット	セキュリティサムターンユニット/1個 サムターンキー/2本、サムターン座/1個 皿小ねじM5×70/2本
鍵セット	1セット	オーナーキー/1本、子鍵/4本 工事用キー(コンストラクションキー)/3本
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

■固定把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	—
内側把手セット	1 個	皿小ねじM5×25/4本
内側台座カバー	2 個	—

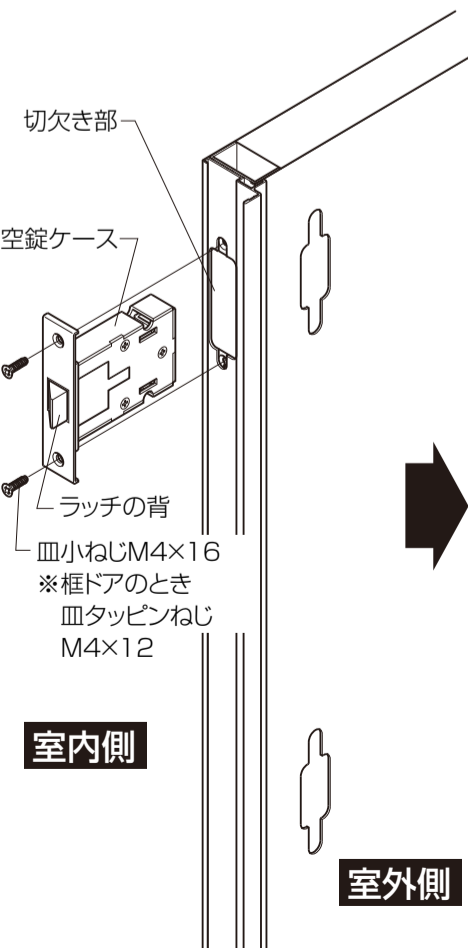
■取付け完成図



■把手の取付け

※バーハンドルの図で説明していますが、グリップハンドルも取付け方法は同じです。

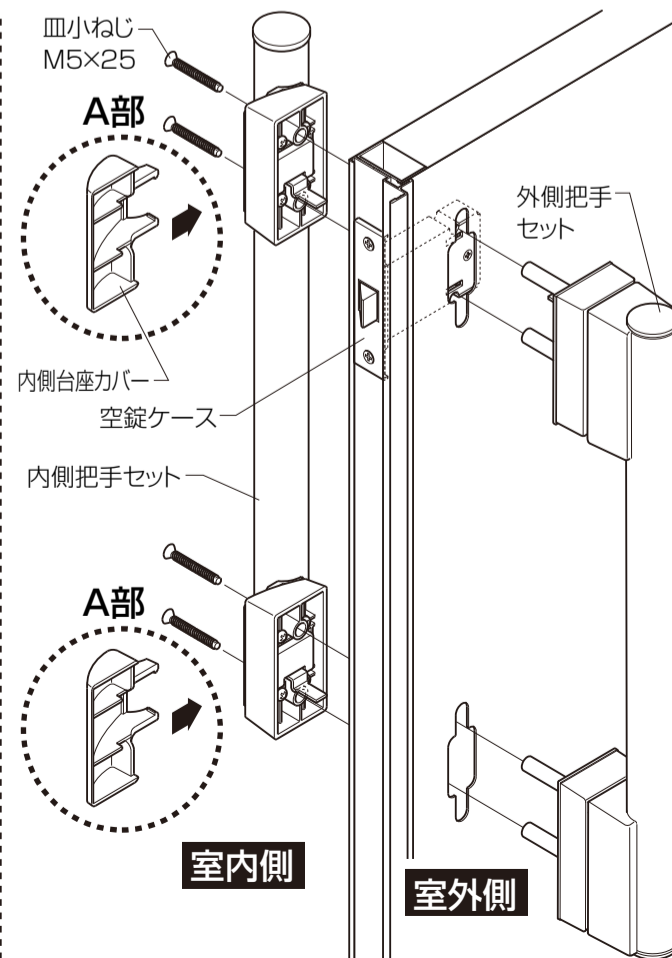
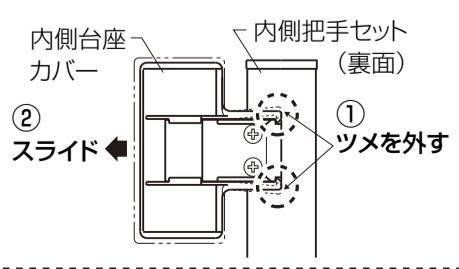
- ① ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじで框に空錠ケースを取付けます。(框ドアのとき皿タップピンねじ)
- ② 外側把手セットを室外側から差込みます。
- ③ 内側把手セットを皿小ねじで固定します。
- ④ 内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。
※両開きタイプの子扉には、上記②・③・④の手順で固定把手セットを取付けます。



■内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)



■内側台座カバーの外し方

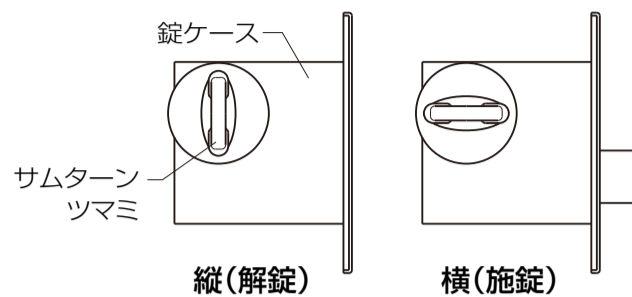


■メイン錠ケース及びサブ錠ケースの取付け

- ①皿小ねじでメイン錠ケースを取付けます。(框ドアのとき皿タップピンねじ)
 - ②皿小ねじでサブ錠ケースを取付けます。(框ドアのとき皿タップピンねじ)
 - ③メイン用シリンダー(大きい方)のリクシルマークを上に向けます。
 - ④メイン用シリンダーの出っ張り(4箇所)を、メイン錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
 - ⑤サムターンをトラス小ねじでメイン用シリンダーに取付けます。
 - ⑥サブ用シリンダー(小さい方)の上側シールを上に向けます。
 - ⑦サブ用シリンダーの出っ張り(4箇所)を、サブ錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
 - ⑧セキュリティサムターンを皿小ねじでサブ用シリンダーに取付けます。
 - ⑨サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
 - ⑩ボタンを上押ししながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)
- ※メイン錠ケース・サブ錠ケースは、「MIWA マーク」を上にして取付けてください。

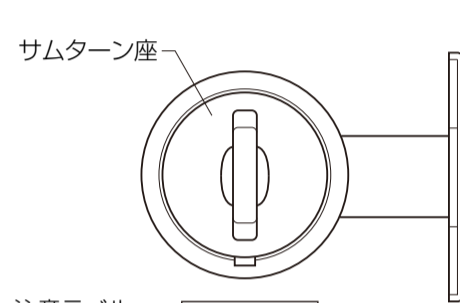
■サムターンツマミの操作(B部詳細図)

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



お願い

- 同梱の注意ラベルを、サムターン座の下に張ってください。



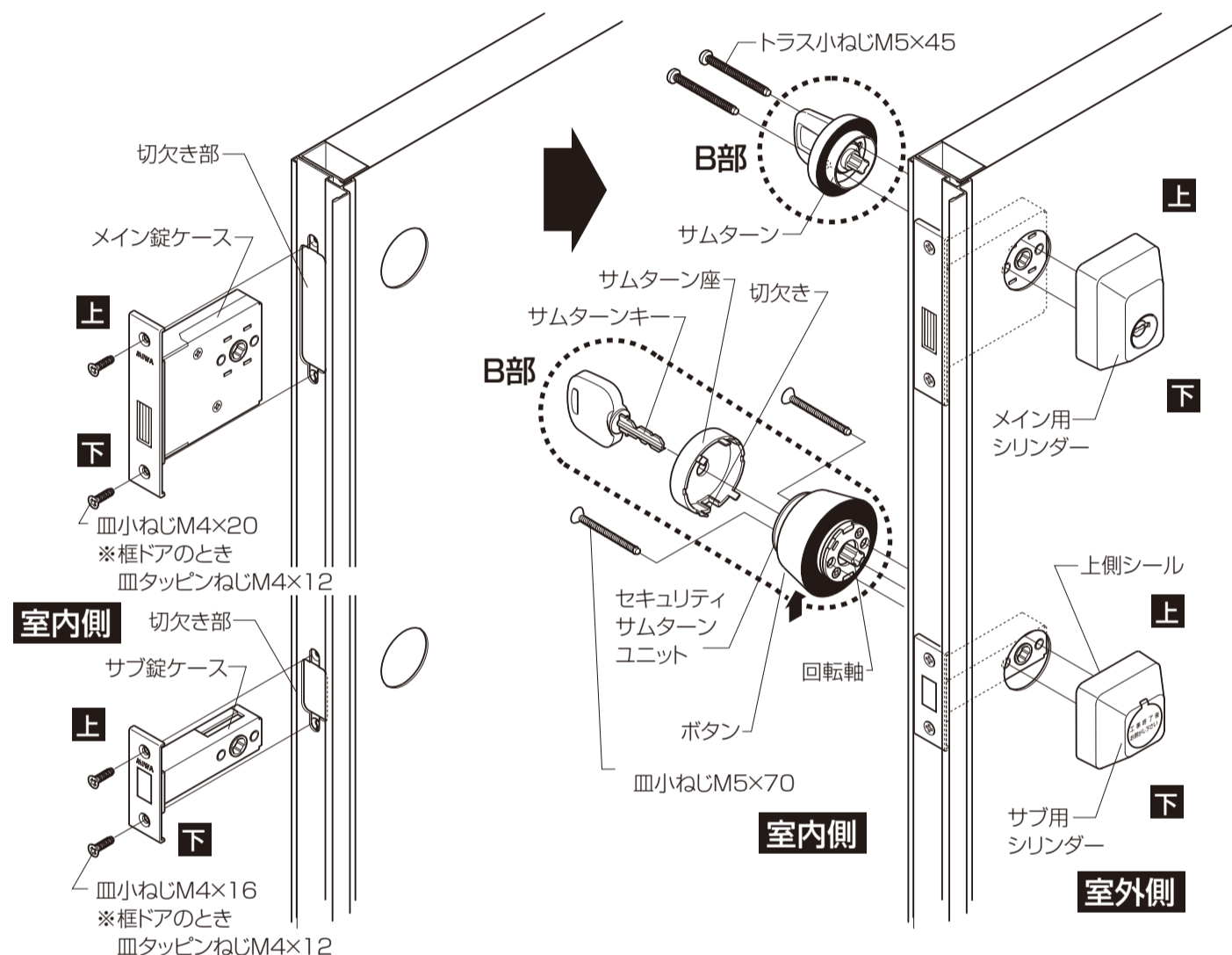
錠の操作上のお願い

- キーを抜き差しする時は、必ず下部のボタンを押したまま操作してください。押しっぱなしに抜き差しをすると、錠本体が破損するおそれがあります。

①押したまま

- セキュリティサムターンを外した後、室外側のカギで施錠を行うとサムターンの施錠の向きが変わります。その場合は必ずセキュリティサムターンを外した状態で室外側のカギで施錠の操作を行い、サムターンの施錠の向きを元に戻してください。
- セキュリティサムターンの施錠の向きが変わったまま使用を続けると、サムターンの抜き差しができなくなる場合があります。

■サムターンの正しい向き



■コンストラクション装置について

- メインロックには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後お施主さま専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- サブロックには、コンストラクション装置が組込まれていないため、封印シールが張ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、お施主さまにお引渡しください。

